会議録

会議の名称	令和８年度第１回子ども・若者審議会「子ども・若者の権利の観点」からの評価・検証専門部会
開催日時	令和８年４月23日（木曜日）午前９時30分から午前11時40分まで
開催場所	田無第二庁舎４階会議室１
出席者	委員：小野部会長、小林委員、島崎委員、中西委員、林委員 事務局：遠藤子ども若者部長、菱川子ども若者応援課長、越川子ども若者応援課子ども若者計画係長、須藤子ども若者応援課子ども若者計画係主任、園田子ども若者応援課子ども若者計画係主事、佐々木子ども若者応援課子ども若者計画係主事、吉尾子ども若者応援課子ども若者計画係主事
議題	１　議　題 (1)第３期西東京市子ども・若者ワイワイプラン令和７年度取組実績について (2)西東京市ワイワイトークについて (3)「子どもの意見表明」の子どもアンケートについて (4)日常保育での活動の取組状況確認について ２　報　告 西東京市若者会議について
会議資料の名称	資料１　第３期西東京市子ども・若者ワイワイプラン令和７年度取組実績（重点①～⑦） 資料２　令和８年度西東京市ワイワイトーク企画案 資料３　子どもアンケートの実施について 資料４－１　子どもアンケート案（子どもの意見表明）_高学年以上版 資料４－２　子どもアンケート案（子どもの意見表明）_低学年版 資料４－３　子どもアンケート用説明動画（「子どもの意見表明」を知ろう！）案 資料５　日常保育での活動の取組状況確認について 資料６　西東京市若者会議募集要領 資料７　西東京市若者会議募集チラシ
記録方法	□全文記録　■発言者の発言内容ごとの要点記録　□会議内容の要点記録

会議内容

１　議　題

(1)第３期西東京市子ども・若者ワイワイプラン令和７年度取組実績について

事務局から資料１に沿って説明

○林委員：

事業自体はよいがホームページ等のリンクや画像を入れてもっとイメージが浮かびやすくするべきではないか。ほかの課にもホームページのリンクを入れてもらい１つのページで関係する情報を閲覧できるようにできないか。

○小野部会長：

実績報告の記載方法について、研修などは実施していないのか。1つのページに事業ごとのリンクをまとめて貼ったり、必要な情報を一覧で載せることはできないのか。また、各課

ごとに記載方法が異なる点が気になる。

○事務局：
　研修はしていないが、実績報告の書き方が変わったので、記載項目の解説を各課に送り、確認した上で記載してもらった。参加人数や回答数など数字を入れることができるものに関しては、数字を入れてもらうようにしている。

○林委員
　資料６ページにあるスポーツ振興課の(4)のBにある「チラシを市内公立小学校に配布したことは、非常に効果的であった。」について、何がどのように効果的であったかを確認しているのか。配った結果何人集まったかなどの具体的な数字がほしい。７ページの教育指導課のアンケート回収率も数字がほしい。

○小野部会長：
　全体的に令和７年度の実施実績の自己評価部分の文量が少ないのではないか。ここも課によって違いがある。文量が多いところもあるため、少ないところが目立ってしまっている。

○中西委員：
　ワイワイトークでも各課の実績を見せると思うが、資料の３番と４番は学校教育の中に入り込んでいるのでほとんどの子どもが関わる点がよいと思う。また、資料の15番も美化活動（ごみ拾い）で内容がわかりやすくてよいと思う。
　昨年の公民館や図書館等での子どもの意見表明について、今年度は取り扱わないのか。

○事務局：
　重点的な取組③の参画に入っているため、今回のテーマには含まれていない。ただ、児童館に関しては、資料５ページの７番に児童館の改修についての意見を求めるワークショップについての実績が入っている。

○小野部会長：
　資料４ページの５番にある公共施設マネジメント課の田無第三中学校周辺エリアについてのアンケートなどは、市全体でみると旧保谷市側に住む子どもたちにとっては関係が薄いと思われる。そのため、ワイワイトークでは、学校より一般的なものをテーマにした方がよいのではないか。その方が市全体のためになるのではないか。

○林委員：
　特定の学校について聞いている＝市全体の意見ではないというわけではないと考える。子どもたちに、自身の学校以外や今後も改修は続いていくという視点で考えてもらえば今後も役立てることができると考える。

○小野部会長：
　子どもの関心が高そうなのは資料６ページ９番にあるスポーツ振興課の公園等の「あそビバ！」の内容ではないだろうか。そのため、ワイワイトークでは、小学生は「あそビバ！」、中高生は建て替えについてのようにテーマを別のものにしてもよいのではないか。次回の会議で、ワイワイトークで話してもらう事業内容について重点的に議論したい。

○林委員：
　ワイワイトークの10月から１月に実施する体験活動は、資料の８ページの15番の資源循環サミットの美化活動と同時に開催するのか。

○事務局：
　時期的には同じだが、資源循環サミットは資源循環推進課の方でもうすでに企画が始まっており、ワイワイトークとは運営母体が違うので、別で開催する。

○小野部会長：
　体験活動は、来年度の実績報告ではどこの事業内容に入るのだろうか。

○事務局：
　ワイワイトークに付随してくる。

(2)西東京市ワイワイトークについて
　事務局から資料２に沿って説明

○小野部会長：
　子どもたちからごみ拾い以外の発想がでた場合、体験活動の範囲内であればごみ拾いのみに限定しなくともよいのではないか。

○中西委員
　作戦会議と体験活動は申し込み時に参加することが決まっているのか、別のタイミングで募集するのかどちらか。

○事務局：
　別にしようと考えている。まずは、３日間のワークショップに参加してくれる子どもを募集する。ワークショップの時期には、作戦会議の候補日程が出ていると考えるため、この時に改めて、体験活動について告知・募集をする予定。

○中西委員：
　作戦会議と体験活動に関しては武蔵野大学の学生は参加するのか。

○事務局：
　可能な範囲でご参加いただきたいと考えている。

○小野部会長：
　体験活動の内容を１つにしなくてもよいのではないか。
　イメージとして、広報班、企画班のようにわけて選んでもらう形式がいいのではないか。

○林委員：
　体験活動に関する予算はある程度取れているのか。

○事務局：
　チラシの印刷や消耗品、備品の予算を確保している。

(3)「子どもの意見表明」の子どもアンケートについて

事務局から資料３、４に沿って説明

○小野部会長：
アンケートの回収方法として、学校にお願いすることはできないのか。

○事務局：
学校では紙の配布が難しい。ポスターの掲示とインターネットでの回答フォームをタブレットで配信してもらえないか担当課に確認中である。

○小野部会長：
回答フォームの二次元コードがついた紙は配布されるのか。

○事務局：
回答フォームの二次元コード入りのチラシを作成し、学校で配布していただくことになっている。

○小野部会長：
学校に回収ボックスを置かせてもらうのも難しいか。回答用紙を手に入れても、回収先が児童館やぽくるーむだとそこに行かない子どもも多くいるのではないか。

○小野部会長：
回収ボックスが市役所にもあれば親が入れてくれる可能性があるので回答用紙と併せて置くべきではないか。

○小林委員：
いこいの森公園の管理棟の中に置くのはどうだろうか。

○小野部会長：
雨風をしのげる必要があるので市内の体育館などはどうだろうか。児童センターも子どもが来る場所だと思う。

○島崎委員：
ダンスなどの習い事をしている子は、きらっとを利用するのではないか。
住吉会館の１階も小学生が自由に遊んでいるので、置いておくとよいのではないか。

○小野部会長：
そのほかは、市のＬＩＮＥやＳＮＳなどで広報するということでよいか。期間中は何度か配信されるのか。

○事務局：
期間の始めと終わりが近づいた頃にも配信できるよう調整する。

○小野部会長：
今の状態だと紙での提出は想定していないように思えるがその認識でよいか。回収率が悪

かった時の対応策は考えておくべきだと思う。

○林委員：
　５分程度なので、学校で時間をとっていただいて、その場でやってもらえるとよいのではないか。

○事務局：
　学校の授業時間の兼ね合いもあり、アンケートに時間をとっていただくのは難しい状況であると聞いている。

○小野部会長：
　少なくとも審議委員の校長先生の学校では時間をとっていただくようお願いしてほしい。
　回収ボックスは市役所や住吉会館に置いてもらい、可能であれば、学校に置けないか確認してほしい。

○島崎委員：
　学童クラブはどうか。

○小野部会長：
　学童クラブは回答用紙の配布場所に含まれていないのか。

○事務局：
　児童館での配布を想定していたので、学童クラブ単体での配布は想定していなかった。

○小野部会長：
　アンケート回収の説明文のところに、学童クラブの先生に渡すのを付け加えることは難しいのか。

○事務局：
　それに関しては調整する。

○小野部会長：
　紙は配らないのか。回収ボックスを置くところには置いておくのか。

○事務局：
　基本的には回収ボックスを置くところでは、回答用紙の配布もセットで行う。

○小野部会長：
　資料４のアンケートの内容について、気になった点は、「思う・思わない」の回答部分が☆になっているので回答方法を間違えてしまうのではないか。高学年のほうは☆に色を塗るのではなく、１～５の数字のどれかに○を付ける形の方がいいのではないかと思った。

○島崎委員：
　個人的には、低学年の方が間違えるのではないかと思う。この形式より、「思う・少し思う・思わない」のように段階を文字で表す方がいいのではないか。

○小野部会長：
　アンケート作成の際は外部の児童館の先生などに確認したのか。

○事務局：
　児童館の職員や実際に児童館に出向いて子どもにも聞いて確認した。ただ、該当の部分は☆の形式にした状態で見せ、意見をいただいたので、「この形式ならこうした方がよい」という形で意見をいただいた。

○小野部会長：
　最終的な形は事務局にお任せするので文言の調整をお願いしたい。

○小林委員：
　資料４の質問（３）に広島平和大使がひらがなで載っているがこれは低学年がわかるのか。

○事務局：
　この取組の対象を意識できていなかったが、低学年は参加しない取組である。

○小野部会長：
　対象に含まれていないのであれば削除してもよいのではないか。

○小林委員：
　資料４－１、２の質問（３）の【「じぶんのかんがえやきもちをいえているな」とおもうばしょはどこですか】の回答肢にあるスキップ教室、ニコモルームのことは、子どもはわかるのか。

○事務局：
　わかる子どもだけに向けた項目として作成した。

○小野部会長：
　やはり、回収率が悪かった際の追加広報も必要だと思う。何か考えがあればお願いしたい。
　低学年は特に子どもだけでなく、親の目に触れることが大切だと思う。

○島崎委員：
　学校から保護者への連絡メールとして使用されている「すぐーる」での配信はできないか。

○事務局：
　教育委員会と確認する。

○小野部会長：
　広報に関しては今後も考えていくとして、「子どもの意見表明を知ろう！」の動画の内容はどうか。
　個人的には吹き替え音声をやめて、市の職員の方に声を入れていただくほうがいいのでは

ないかと思う。子どもに語りかけるような形の方がいいのではないか。

○小林委員・林委員：
　今の子たちは機械音声を聞き慣れていると思う。

○林委員：
　音声だけでなく音楽を流すことはできないか。

○島崎委員：
　大切なところは効果音を入れるのもよいのではないか。

○小野部会長：
　そのあたりの検討をお願いしたい。内容自体はよかった。
　次の部会より前に完成するので修正確認は部会長と事務局で行い、各委員に送付して観ていただく形でよいか。

○林委員：
　音声の部分に関して、吹き替えをするのであれば、市内の学校の放送部にお願いするのはどうか。子ども参加をアピールできるのではないか。今回は難しくても、今後検討していくのはどうか。

(4)日常保育での活動の取組状況確認について
　事務局から資料５に沿って説明
○島崎委員：
　２園あるが、両日ともに参加しなければいけないのか。

○事務局：
　日程が合えばできるだけ参加していただきたい。

○小野部会長：
　訪問中に確認したいことはあるか。
　普段の活動を重視するべきなのであまりこちらから何か言うべきではないと思うが、それでよいか。
　こまどり保育園のフィードバックを５月14日の専門部会で参加委員からしてもらい、その内容によって、６月の訪問の際に意識することを話し合うという形にしたい。

○小林委員：
　保育士の方と話せる場面はあるか。

○事務局：
　特にそういった時間はとっていないが、必要であれば調整する。

○小野部会長：
　５月はそういった時間は設けず、この見学を通して必要であると感じた場合に、６月の訪問の際には設けるようにする。

○島崎委員：
　確認する２園の取組について、例年はどうしているのかが知りたい。

○事務局：
　毎年実施している。

２　報告
西東京市若者会議について
　事務局から資料６、７に沿って説明

○小野部会長：
　市報に載る前からも、募集人数以上の申し込みがあったのか。

○事務局：
　市報に載る前からある程度申し込みはあったが、市報に載った後からより増えた。

○小野部会長：
　応募人数がかなり多くなりそうなので、参加とならなかった人も活躍できるようなものを考えるべきなのではないか。

○事務局：
　その点については、検討する。

○小野部会長：
　７月の発表や１月の意見交換には参加できるようにすることや、別で一回きりの会議を開催するなどができるとよいのではないか。

○林委員：
　今回は傍聴できないのか。

○事務局：
　傍聴できるようにしている。

○小野部会長：
　メンバー選考に関して、何か事務局に意識してほしいことがあるか。

○林委員：
　年代を上手くばらけさせてほしい。

○小野部会長：
　私も年代と性別はばらけさせるべきだと思う。学生や働いている人かも大切だと思う。

○林委員：
　ちなみに応募者の現状はどうか。

○事務局：
　現状はばらけている印象。ただ、男女比に関しては出せていない状況である。

○小林委員：
　今回参加とならなかった方にワイワイトークについてお知らせするのはどうか。

○小野部会長：
　高校生に関しては応募を薦めてもいいのではないかと思う。
　そういったことも５月14日の専門部会でどのようにするのかを事務局から報告していただきたい。

○小野部会長：
　令和８年度第１回子ども・若者審議会「子ども・若者の権利の観点」からの評価・検証専門部会を閉会する。

以上